

オプス・デイ属人区 長は日本のために祈 りを呼びかけました

ハビエル・エチェバリーア司
教は、自ら参加している年の
黙想会において、大地震の被
害に遭った日本の人々のため
に祈りを呼びかけました。

2011/03/17

先週の金曜日の早朝、心から愛する
日本の地で、大地震の被害が出てい
る知らせを受けて以来、被害に遭わ
れたすべての人々とそのご家族の苦

難に心を合わせ、祈り続けています。また、日本の人々のために祈るように呼びかけたいと思います。

亡くなられた人々のご冥福を祈り、この人々が、被害の拡大をくい止め、必要としている方々に必要なあらゆる援助が与えられるためにとりなしてくださるよう、神に願っています。オプス・デイ属人区のすべての信者と共に、被災された人々のために懸命に働いている方々と心をつなげています。日本にいる属人区の信者の方々には、人々と心をつなげ、祈りと犠牲を捧げ、各々ができる限りの援助を惜しみなく捧げるようお願いしています。

属人区の信者と共に、教皇様の祈りと日本の司教様方のご配慮に特別に一致しています。カトリック教会が、日本の人々の身近にあり、特に苦しみにある方々の支えとなるように願っています。」

.....

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/article/opusudeishu-ren-qu-chang-hari-ben-notameni-riwohu-bikakemashita/>
(2026/01/19)